

アダルベルト・スコッチ & 瀬尾真喜子

Adalbert Skocic & Makiko Seo Duo Recital

デュオ・リサイタル



アダルベルト・スコッチ | チェロ *Adalbert SKOCIC*

マンハイムで、伝統あるオーストリアの音楽一家に生まれる。6歳より父にピアノの指導を受け、9歳よりチェロを学ぶ。ウィーン国立音楽大学を首席で卒業。1961年ジュネーヴ国際コンクールで受賞。64年より85年までウィーン国立歌劇場管弦楽団、ウィーンフィルハーモニー管弦楽団奏者を務める。その間、70年より故G.ヘッツェル率いるウィーンフィル室内合奏団のメンバーとして多くのコンサートに出演、またドイツグラモフォンより30枚以上のCDが発売されている(ウィーン・モーツァルト協会賞受賞)。その後はソロ、室内楽、オーケストラ共演等幅広い活動を行っている。ザルツブルク音楽祭、ウィーン音楽週間をはじめ多くの音楽祭にも招聘され、ピアニストのJ.デームス、E.レオンスカヤ、指揮者のJ.レヴァイン等とも共演。ウィーンコンセルヴァトリウム教授。度々の来日でも、演奏会の他各地でマスタークラスも行い、指導者としても評価が高い。ウィーンフィル奏者との室内楽やウィーン・クラリネット・トリオのメンバーとしても日本でおなじみ。

瀬尾 真喜子 | ピアノ *Makiko Seo*

桐朋学園大学音楽学部演奏学科(ピアノ専攻)卒業し、卒業後パリ(フランス)留学。
パリ・エコールノルマル音楽院で学び、演奏家資格(ディプロム・エグゼキューション)取得。
コンセルヴァトワール・ヨーロッパで学び、修士資格(ディプロム・メトリーズ)取得。
クロード・カーン・ヨーロッパ国際コンクール入賞。イタリア・イブラ国際音楽コンクール第4位入賞。テアトル・ジャルダン(パリ)にてリサイタルを開催。帰国後、カザルスホール、紀尾井ホール、浜離宮朝日ホール等でリサイタルを開催し、NHK-FMに出演する。
東京芸術劇場大ホールでの東京交響楽団特別演奏会にソリストとして出演し、ライブCDがビクターよりリリースされる。チェコ・フィルハーモニー六重奏団とショパンの協奏曲第一番を共演する他、「トーク&ピアノコンサート」シリーズを年2~3回開催している。
ホームページ <http://maki-p.com/>



東京メトロ日比谷線「広尾駅」1番出口より徒歩6分